

徳島県立城北高等学校

1 学校の概要

- ① 生徒数 916名
- ② 校呈 為せばなる
- ③ 環境目標

「広げよう 地域と共に歩むエコプロジェクト
育もう 街の自然を培う心、未来を担う生徒づくり」



2 行動方針

- ① 「節電」「ゴミ分別」「リサイクル」に取り組み、行動できる意識豊かな生徒づくり
- ② 地域と生徒、保護者、職員の輪がより広く大きく協調し、ともに実践する学校づくり
- ③ 地域と共に、自然を培う環境実現に取り組み、小さな一歩を実践する学校実践的環境教育を推進しよう

3 行動

① 節電・節水

生徒会・環境委員会による節電節水の呼びかけや空調の集中管理を行っている。



② ゴミ分別

教室に分別のゴミ箱を設置。ゴミ種(可燃物, 不燃物, ペットボトル, カン, その他)で収集している。

③ リサイクル

印刷室には回収用箱を設置。裏面の再利用をしている。教室に不用プリント回収箱を設置してリサイクルしている。



④ 1) クリーンキャンペーン 1

環境委員全員，生徒会及び有志の生徒たちにより城北高校内及び周辺の清掃活動を行った。

第1回 5月30日(水)

第2回 10月10日(水) 実施



生徒たちが通学路で収集したゴミを校門で分別収集した。

2) クリーンキャンペーン 2

環境委員全員，生徒会，部活動部員及び有志の生徒，保護者を含めた参加者により，校内及び学校周りの清掃活動を実施した。

8月26日(日) 実施

※その他 城北祭でのゴミ分別の呼びかけ



今年の城北祭では，ゴミの減量と分別の徹底を全校生徒に呼びかけた。校内12か所に「燃えるゴミ，燃えないゴミ，空き缶，ペットボトル，割り箸」の5種類のゴミ箱を設置し，それぞれに分別監視員を配置した。監視員には，環境委員が割り当てられ，分別の呼びかけと指導を行った。その成果が現れ，昨年度に比べゴミの減量化と分別の徹底が進んでいたと思われる。また，生徒のマイ箸の普及が進み，今年度は生徒使用割り箸の回収を廃止することにな

りました。来年度も引き続き，ゴミの減量と分別の呼びかけをしていきたい。

4 具体的効果

- ◆ 「新 学校版環境ISO」推進事業についての職員・生徒への呼びかけや，各種掲示を行うことによりゴミの減量と分別，節電，節水への意識向上を図ることができた。
- ◆ クリーンキャンペーンや城北祭でのゴミ分別の呼びかけを通して，地域理解や環境美化に取り組む意識が高まった。

5 改善点

- ◆ 今後，生徒への啓発を積極的に行い，生徒一人一人が主体的に活動する意欲を高める。また，教師主導から生徒会，環境委員会の自主的活動へと発展させていくことが課題である。
- ◆ 学校全体で組織的，継続的に「新 学校版環境ISO」を推進する。
- ◆ 学校・家庭・地域と連携し，協力して活動に取り組んでいく必要がある。